



広報紙

よくゆく

第173号
令和8年4月9日
発行：第49普通科連隊
広報班

第12代 第49普通科連隊長

杵淵1佐着任

連隊は令和8年3月16日、豊川駐屯地において中部方面混成団長（野口1佐）立会のもと、第12代第49普通科連隊長杵淵賢一（きねぶ ちけんいち）1等陸佐の着任式を挙行した。中部方面混成団長からの紹介の後、杵淵連隊長は統率方針「任務の完遂」とし、「使命の確立と堅持」「チームワークとそのための心理的安全性の確保」「勝ちにこだわり敗けないを追求」を要望事項とした。着任にあたり「本職は統率方針に基づき



混成団長による紹介

隊務を運営する。諸官はこれを具現するのための要望事項を常に意識して隊務に取り組んでもらいたい。また、強い部隊は一朝一夕にできるものではない。地道に少しずつ、時間はかかるだろうが私に付いてきてもらいたい。皆の助けが必要だ。よろしく頼む。」と訓示した。

統率方針

「任務の完遂」

要望事項

「使命の確立と堅持」
「チームワークとそのための心理的安全性の確保」
「勝ちにこだわり敗けないを追求」

<主要経歴>

平成8年3月	第40普通科連隊	(小倉)
平成18年8月	第4師団司令部第3部	(福岡)
平成20年8月	第27普通科連隊第3中隊長	(別海)
平成22年8月	陸上幕僚監部人事部人事計画課	(市ヶ谷)
平成23年8月	幹部学校教育部(CGS学生)	(目黒)
平成25年8月	第15旅団司令部第1部長	(那覇)
平成27年8月	北部方面總監部防衛部防衛課	(札幌)
平成29年8月	統合幕僚監部総務部	
	人事教育課人材育成班長	(市ヶ谷)
令和元年12月	第17普通科連隊長	(山口)
令和3年12月	第3陸曹教育隊長	(板妻)
令和5年12月	旭川駐屯地業務隊長	(旭川)
令和7年12月	教育訓練研究本部教育部教官	(目黒)
令和8年3月	現職	

第11代 第49普通科連隊長

近藤1佐離任



連隊は令和8年3月13日、豊川駐屯地において中部方面混成団長（野口1佐）立会のもと、第11代第49普通科連隊長近藤浩行1等陸佐の離任式を挙行した。近藤連隊長は令和5年3月着任以来、統率



初登庁・出迎え



巡閲（着任式）

を後にした。中、豊川駐屯地を見送られ、拍手の聲に送られ、隊員との別離に尽力された。和6年3月16日は令和6年3月16日、近藤1佐は令官昇任し定年退官された。

主な記事

- 1面 杵淵1佐着任・近藤1佐離任
- 2面 混成団訓練検閲・連隊競技会・連隊記念行事
- 4面 人事往来・優秀隊員紹介
- V O I C E S ・フォトギャラリー

令和7年度混成団訓練検閲

連隊は、令和8年2月9日から15日の間、川西駐屯地において実施された令和7年度混成団訓練検閲を受閲した。検閲はICESシステムを活用した指揮所演習により実施され、作戦計画の作成から戦闘指導における指揮幕僚活動を主要演練項目として評価を受けた。

師団の先遣として師団主力の作戦を容易化する任務を与えられた連隊は、第6施設群、中部方面特科連隊第2大隊及び第306普通科直接支援中隊の配属を受け、コンピュータ上の戦場において情報と火力の連携を重視し

た戦闘により敵を撃破することで師団の作戦に寄与した。

訓練検閲終了式において統裁官（混成団長）は「本検閲においてこれまでの練成成果を遺憾なく発揮し、任務達成に向けて邁進したと認める。本検閲での成果を踏まえ更なる練度向上を図ってもらいたい。特に、それぞれの階層において、指揮の要訣を常に意識し、常即一体となった実員指揮により任務を達成できるよう、引き続き演練してもらいたい。」と講評を述べ、検閲を締めくくった。

連隊は令和8年3月2日から6日の間、令和7年度連隊射撃競技会及び令和7年度連隊武装走競技会を実施し、基礎体力・戦技能力の向上、団結の強化及び士気の向上を図った。

連隊武装走競技会は装備を身に着けた5〜6名編成のチームにより駐屯地内の3kmのコースを走行し、平均タイム及び着順をもって中隊及びチームの順位を決定した。コースの途中に無線機操作、第一線救護及び防衛法制の問題回答のセクションが設けられ、チームの走力のもとより各種知識・技能の練度の高さが競技結果に大きく影響した。

令和7年度武装走競技会

令和7年度射撃競技会

銃撃の部の二部門により競技が行われ、戦闘射撃においては小銃手二人一組で移動しながら至近距離射撃を行い、機関銃射撃は各普通科中隊から選抜された射手が5.56mm機関銃M16の射撃精度を競い、それぞれの射撃精度が競われた。各競技会の目的が達成された。



指揮を執る近藤連隊長（当時）



武装走

チーム一丸となりゴールを目指す



戦闘射撃（組）



機関銃射撃

競技結果

令和7年度連隊武装走競技会

中隊の部
優勝 第1中隊
チームの部
第1位 第4中隊 チーム大島

令和7年度連隊射撃競技会

戦闘射撃（組）
優勝 本部管理中隊
機関銃射撃
中隊の部
優勝 第4中隊
個人の部
第1位 第4中隊 池ノ上2曹

連隊創隊22周年

連隊は令和8年3月26日、豊川駐屯地において、連隊創隊22周年記念行事を実施した。第10特科連隊内に編成されたコア普通科連隊準備隊を基に平成16年3月29日に編成完結して以来22年を迎え、連隊後援会、連隊OB会、隊員家族を招待し、隊員とともに節目を祝った。



人事往来



連隊本部へ

1佐 柁淵 賢一 (教育研本・目黒)
 1尉 松永 公正 (104補・島松)
 1尉 宮川 勇 (女教隊・朝霞)
 本部管理中隊へ

3曹 伊藤 悠太 (14普連・金沢)
 第1中隊へ

1尉 藤井 信次 (18普連・真駒内)
 2曹 柳瀬 知彦 (35普連・守山)
 2曹 向平 祐太郎 (35普連・守山)
 3曹 原田 恰祐 (14普連・金沢)
 3曹 橋爪 賢太郎 (14普連・金沢)
 第3中隊へ

1曹 渡邊 道則 (14普連・金沢)
 2曹 兼田 崇弘 (10後支・春日井)
 3曹 辻 勇輝 (35普連・守山)
 第4中隊へ

1曹 大谷 尚久 (中即連・宇都宮)
 2曹 迫田 崇志 (47普連・海田市)
 3曹 山本 翔一 (14普連・金沢)
 3曹 河瀬 雄斗 (35普連・守山)
 第5中隊へ

准尉 都地 伸彦 (35普連・守山)
 重迫撃砲中隊へ

2曹 橋本 幸育 (35普連・守山)
 (令和8年3月16日付)

部内異動

連隊本部へ

3尉 田口 勝己 (重迫撃砲中隊)
 准尉 太田 博仁 (本部管理中隊)

本部管理中隊へ

1尉 藤波 孝之 (第1中隊)
 2曹 奥 登志和 (第1中隊)
 3曹 宮竹 貴大 (第2中隊)

第3中隊へ

2曹 菅野 正人 (本部管理中隊)
 第5中隊へ

1尉 佐野 泰弘 (連隊本部)
 准尉 安田 勝之 (連隊本部)

重迫撃砲中隊へ

2尉 濱 大輔 (連隊本部)
 (令和8年3月16日付)

栄転

本部管理中隊から

2曹 山崎 弘樹 (豊川駐業・豊川)
 2曹 坪田 辰則 (10司付・守山)

第1中隊から

1曹 星場 彦志 (14普連・金沢)
 2曹 鈴木 智明 (体育学校・朝霞)
 3曹 加納 拓海 (中即連・宇都宮)

第3中隊から

1曹 手綱 秀人 (34普連・板妻)
 2曹 本井 純 (14普連・金沢)
 2曹 矢澤 信也 (35普連・守山)

第4中隊から

1尉 米山 幸一 (富士学校・富士)
 1曹 箕浦 禎夫 (35普連・守山)
 2曹 大島 勝高 (47普連・海田市)
 2曹 齊藤 正樹 (需品学校・松戸)
 2曹 大竹 眞二 (板妻駐業・板妻)

第5中隊から

1尉 早川 勉 (富士学校・富士)
 2尉 岩岡 和之 (女教隊・朝霞)
 准尉 渡邊 学 (1普連・練馬)
 重迫撃砲中隊から

3曹 藤川 知弘 (国際教・駒門)
 (令和8年3月16日付)

栄光

令和7年度連隊長感謝状



第49普通科連隊
 副会長 後援会
 田内 正宏 様



令和7年度
 即応準備自衛官
 永年勤続者表彰

防衛大臣表彰 (30年)

本部管理中隊
 第1中隊 即1曹 前田 兼也
 第4中隊 即1曹 福西 悟夫

陸上幕僚長表彰 (20年)

本部管理中隊 即2曹 辻元 真一
 第2中隊 即2曹 桑室 和幸
 第3中隊 即2曹 佐藤 英明
 第5中隊 即1曹 鳥居 幸平
 同 即2曹 藤木 幸二
 同 即2曹 岡山 幸弘
 同 即2曹 小林 紀美江
 同 即2曹 今井 啓二

中部方面總監表彰 (10年)

本部管理中隊 即3曹 坂尾 和貴
 同 即3曹 東端 昌利
 同 即3曹 山本 健治
 同 即3曹 岩井 竜奈
 同 即3曹 白藤 賢一
 同 即3曹 内藤 誠哉
 同 即3曹 野口 龍也
 同 即3曹 松村 優生
 同 即3曹 橋井 旭人
 同 即3曹 碓井 翔
 同 即3曹 津呂 湧
 同 即3曹 島田 龍馬
 同 即3曹 竹村 洋史
 同 即3曹 藤井 一徳
 同 即3曹 宮田 和章
 同 即3曹 宮城 陽平
 同 即3曹 尾崎 健太
 同 即3曹 高橋 彰仁
 同 即3曹 平野 彰人
 同 即3曹 内野 亮輔
 同 即3曹 櫻井 亮弘
 同 即3曹 阪本 芳亮
 同 即3曹 中野 邦亮
 同 即3曹 花村 信幸

車両無事故走行

重迫撃砲中隊 即3曹 中村 雄大
 同 即3曹 和田 浩亮
 同 即3曹 水野 元氣
 同 即3曹 滝川 純史
 同 即3曹 浅尾 楽
 同 即3曹 山田 貴史
 同 即3曹 金子 康幸
 同 即3曹 大道 正也
 同 即3曹 柴田 龍三郎
 同 即3曹 福田 尚輝
 同 即3曹 島津 隆太
 同 即3曹 松井 弘幸
 同 即3曹 水口 翔太
 同 即3曹 月岡 大介
 同 即3曹 小林 優紀
 同 即3曹 奥崎 恭平
 同 即3曹 杉岡 一樹
 同 即3曹 野田 龍史
 同 即3曹 小倉 正樹
 同 即3曹 西良 波隼

中部方面混成団長表彰 (5年)

本部管理中隊 即3曹 原田 雄輝
 同 即3曹 野田 龍史
 同 即3曹 小倉 正樹
 同 即3曹 西良 波隼

44歳以下の部 第二位

重迫撃砲中隊 3曹 鈴木 祥太郎

第40回全自衛隊拳法選手権大会

個人戦の部 90kg級 第三位
 2曹 森川 祥大

*所属は受賞時のもの

予備自衛官及び即応予備自衛官の永年勤続表彰



30年を振り返り
本部管理中隊
即応予備1等陸曹
前田 茂

思い起こせば34年前、2任期満了で退職してから7年ほど予備自衛官として勤務していましたが、招集訓練の際、即応予備自衛官にならないかと誘われましたが、当時自分ができるのか自信が無く断ったのですが、翌年の招集訓練の時に挑戦してみようという気持ちを決めました。初めの頃は49普連が立ち上がったばかりで手探りの訓練から始まり、所属する補給小隊はどんな業務をするのかを覚えるところから始まり、仲間と共に一から技術等を覚えながら知識を積み上げていきました。



21年間を振り返り
第3中隊
即応予備2等陸曹
佐藤 英明

21年前、2任期満了で現在の職場に就職し、数年ほど予備自衛官の訓練に参加していたある日「即応予備自衛官をやってみませんか」と地本から連絡を頂きました。当初は年間30日という出頭日数と原隊が普通科ではなかったことに高いハードルを感じていましたが「すでに所属している即自隊員は元の職種が普通科以外、多くの隊員が年々所属しています。多くの隊員が年間30日出頭を達成している」との説明を受け、会社側に相談だけでもと思い上司に話を

30年間、即自仲間や先輩、常備自衛官の方々に助けてもらいつつ務めることができました。

普通科出身ではありませんが、即応予備自衛官に志願するまでの間に体力がいくらか落ちてしまっただけで、体力検定にも徐々に合格できるようになり、即応予備自衛官として活動するうちに一曹に昇任することができました。定年まで残り少ないですが、階級に見合うよう日々一層努力して精進していこうと思いをします。

したところ承諾を得ることができました。招集訓練では普通科の動きが全く分かりませんでした。即応予備自衛官の先輩方に教わりながら新鮮な気持ちで訓練に参加していき、当初は小銃小隊で訓練を実施していましたが、新たに中隊に狙撃班が編成された際、狙撃班に配置された狙撃手として訓練を実施することになりました。狙撃手としての訓練も分からない事ばかりでしたが、狙撃手としての基礎技術から教育が始まり座学から野外での行動訓練を通じて少しずつ自らの技能を向上させることができました。



芸人活動と共に歩む
重迫撃砲中隊
即応予備2等陸曹
上岡 千夏

私は現在お笑い芸人やYouTubeとして活動しているのだが、この度即応予備自衛官としてなんと10年目を迎える。即自に入ると同時に芸人養成所に入ったので、芸人活動も10年目ということになる。芸人の養成所では提出物を提出しない、遅刻する、ヘラヘラしている。そんな見たことない人種の人が沢山いた。自衛隊では考えられない世界だったので、正直ストレスも感じた。しかし、即自

そこから早10年が経過し、気が付けば狙撃班の中で最年長の立場となりました。10年以上訓練を実施してきましたが、まだまだ技能向上を図れる余地が残っており、今後も自らの練度の維持向上を目標に訓練に取り組むとともに後輩隊員に狙撃手として学んできた技能を普及していきたいと思っています。



訓練中の佐藤即2曹

個人的に即自訓練の良いところの一つとして普段は全く異なる職場で働いている人達が集まって同じ訓練をしている点があると思います。様々な経験を持った人達の考えや話に触れることで、自分が現在働いている職場の仕事内容を客観的に考えられることもあり、

の訓練に行くこと自衛隊のノリが通じる、意思疎通が取れる、感覚が似ている、そんな仲間がいるので救われた。訓練期間中、空き時間にネタを披露し、皆さんに見て頂くこともあるが、養成所時代からずっと常備、即自の皆さんは私の活動を応援して下さい。私が10年も活動を続けられているのも皆さんに支えられているからだ。今年も色々な挑戦をして夢を叶えたい。今も私の中で「挑戦・挑め！果敢に」は続いている。

Gallery Forty Nine



令和8年訓練始め(1. 8 豊川)



南海レスキューFTX(1. 24 田原)



3曹集合訓練(2. 19 豊川)



転出者見送り(3. 13 豊川)



最先任上級曹長交代式(3. 13 豊川)



第5中隊長着任式(3. 13 豊川)